

大野第一区 4 地区合同防災研修会

防災部会長 山口隆之

7月19日に防災研修会を開催しました。例年の「防災訓練」の3密を避け、組長さん、防災係、一般の方の参加はご遠慮頂き、大野東市民センターの防災機器の使い方について、研修を実施しました。

また、大野東市民センターは、1区～4区の避難所になっており、今年の7月の大雨時には、避難された方が、約50名おられたとのこと。(1区の方は、10名程度)大野東市民センターと共同開催により、1～4区、近隣自治会の阿品台山の手町内会、廿日市市役所の方も含めて、約70名の参加を頂きました。

9:00～10:00 開会行事・非常食作り

非接触の体温計で検温して、受付OK。

大野支所の木俣支所長よりご挨拶頂き、野田さんの説明で、非常食の定番「カレー」の(ご飯)仕込み作業を、各自で開始しました。

給食・給水班の方は、手慣れておられますが、袋(ハイゼックス)に米と水を入れて、空気を入れずに、密閉する、初めての作業でした。後は、日赤から借用の大釜で、ぐつぐつと。

10:00～10:30 「災害備蓄について」

大野支所地域作りグループ、地域防災指導員の三浦さんから、わかりやすい「出前トーク」と「吉和自慢」をして頂きました。

- ① 災害備蓄の基本的な考え方
- ② 大野地域の災害備蓄の状況
- ③ 自宅でできる災害備蓄について

避難所に来る際は、少なくとも2食分は、持参するようにとのことです。

10:30～11:00 避難所の設営・仕切テントを作ってみよう

大野東市民センターの藤田さんの司会で、ステージ上でテントを組み立てました。コロナウィルスの影響で、4㎡/人が必要と言われてますが、実際に組み立てると、贅沢なスペースと感じられます。大野東市民センターの研修室1・2・3をぶち抜いた大ホールでも、50名しか入りません。

11:00～11:40 大野東市民センターの備蓄品・設備（発電機・かまどベンチ・防災用シャワー・トイレ・授乳室）見学

荻田所長ら 3 人の引率で、分散見学。安心安全のイメージが強い大野東市民センターでは、最新設備にも関心が高かったようです。段ボールベッドなど、便利なグッズの、数の充実にも期待したいですね。

11:45～ 非常食を食べながら情報交換

カレーは、思った以上においしいです。今回は、子どもさんがおられない為、中辛なのでなお Good!（個人的な感想です）。

他地区との情報交換は、野田さん司会で各地区の状況を説明頂きましたが、「災害が起きたら協力しながら対応してゆく」ことが大事なのでしょうね。